学校番号	３０１３

令和５年度　工業科（建築設備系　建築システム専科）

教科	工業	科目	建築施工	単位数	２単位	年次	第３学年
使用教科書	「建築施工」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築生産における技術活動の最終段階である建築施工について、各工事・実務における基礎的・基本的な知識を理解・習得させる。

2　学習の到達目標

・建築施工に関する基礎的・基本的な知識を理解・習得させる。
・建築施工の現場実務に関して、各工事の意義や役割を理解させ現場実務の基礎的知識を理解・習得させる。
・実習と関連させることにより総合的な建築施工の知識・技術を理解し習得させる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	建築施工に関する基礎的な知識と技術について関心をもち，その習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする創造的，実践的な態度を身につけようとしている。	建築施工に関する基礎的な知識と技術をもとに実際の建築工法について考え，また諸問題を発見し，その解決を目指して自ら思考を深め，適切に判断し，創意工夫する能力を身につけようとしている。	建築施工に関する基礎的な知識や技術を習得するとともに，建築工事の現場を観察することで実務的な技能を活用し，表現をすることができる。	建築工事に関する各種工法など建築施工に関する基礎的な知識と技術を身につけ，建築生産技術の意義や役割を理解しようとしている。
評価方法	学習状況の観察 出席状況 ノートの記述 発表･発言 相互評価･自己評価 グループワークへの参加状況	学習状況の観察 ノートの記述 相互評価･自己評価 定期考査	学習状況の観察 ノートの記述 レポート課題 定期考査	学習状況の観察 ノートの記述 レポート課題 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 4月 5月 6月	「建築施工」を学ぶにあたって 建築施工のあらまし 工事の準備	・建築施工にたずさわる人々 ・建築施工の流れ ・工事の準備のあらまし ・地盤と敷地の調査・確認 ・解体工事 ・仮設工事	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○	a)建築施工にたずさわる人々に関する基礎的な知識と技術について関心をもち，さまざまな技術者・技能者の仕事内容の把握に意欲的に取り組むとともに，今後の学習に活用しようとする態度を身につけようとしている。 b)建築施工にたずさわる人々に関する基礎的な知識と技術をもとに，建築の工事現場におけるさまざまな技術者・技能者の仕事内容を思考し，建築施工での役割と位置づけを判断できる能力を身につけようとしている。 C) 建築施工にたずさわる人々に関する基礎的知識と技術を習得するとともに，建築の工事現場におけるさまざまな技術者・技能者の仕事内容を観察し，建築施工での役割と位置づけを表現できる能力を身につけようとしている。 d)建築施工にたずさわる人々に関する基礎的な知識と技術を身につけ，建築の工事現場の技術者・技能者の職業的な意義や役割を理解しようとしている。	授業観察 ノートやプリントの記述 定期考査

7月	地下から下の工事	・地面から下の工事のあらまし ・土工事・地業工事の種類と流れ ・土工事 ・地業工事		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a)地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち，土工事および杭・地業工事の概要の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけようとしている。 b) 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術をもとに，土工事および杭・地業工事の概要を思考するとともに，実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけようとしている。 c) 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに，土工事および杭・地業工事の概要について観察し，実際に活用し，表現できる能力を身につけようとしている。 d) 地面から下の工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ，土工事および杭・地業工事の意義や役割を理解しようとしている。	

2学期 8月 9月 10月 2学期 11月 12月	木構造の工事 鉄筋コンクリート構造の工事 鋼構造の工事	（木工事） ・基礎 ・在来工法の骨組 ・枠組壁工法の躯体 ・外部仕上げ ・内部仕上げ （鉄筋コンクリート工事） ・基礎 ・躯体工事 ・外部仕上げ ・内部仕上げ （鋼構造の工事） ・基礎 ・骨組（柱と梁） ・スラブ ・耐火被覆 ・仕上げ	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ 	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	a) 躯体工事に関する基礎的な知識と技術について関心をもち，基礎工事の工法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけようとしている。 b) 躯体工事に関する基礎的な知識と技術をもとに，基礎工事の工法について思考するとともに，実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけようとしている。 c) 躯体工事に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに，基礎工事の工法を観察し，実際に活用し，表現できる能力を身につけようとしている。 d) 躯体工事に関する基礎的な知識と技術を身につけ，基礎工事の工法の意義や役割を理解しようとしている。	授業観察 ノートやプリントの記述 定期考査

	建築物の保全	・保全の分類と考え方	○		○			
		・保全の方法	○		○		a)建築物の保全に関する基礎的な知識と技術について関心をもち，保全の分類と考え方および保全の方法の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけようとしている。 b）建築物の保全に関する基礎的な知識と技術をもとに，保全の分類と考え方および保全の方法について思考するとともに，実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけようとしている。 C）建築物の保全に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに，保全の分類と考え方および保全の方法について観察し，実際に活用し，表現できる能力を身につけようとしている。 d）建築物の保全に関する基礎的な知識と技術を身につけ，保全の分類と考え方および保全の方法の意義や役割を理解しようとしている。	
	解体工事と環境保全	・解体工事	○			○		
		・環境保全	○	○				
	建築の業務	・工事契約	○		○			
		・現場組織の編成	○		○			
		・施工計画と施工管理	○					

3学期 1月	建築工事費の算出	･積算の基本事項 ･工事費の構成 ･積算の方法	○	○	○ ○ ○	○	a)積算に関する基礎的な知識と技術について関心をもち，積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の習得に向けて意欲的に取り組むとともに，実際に活用しようとする態度を身につけようとしている。 b) 工事費の構成に関する基礎的な知識と技術をもとに，直接工事費・共通費の内容，工事費のまとめ方について思考するとともに，実際に活用するさいに適切な判断ができる能力を身につけようとしている。 c) 工事費の構成に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに，直接工事費・共通費の内容，工事費のまとめ方について観察し，実際に活用し，表現できる能力を身につけようとしている。 d) 積算に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに，積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項について観察し，実際に活用し，適切な判断ができる能力を身につけようとしている。 積算に関する基礎的な知敵と技術を身につけ，積算の分類と数量・歩掛り・単価などの基本事項の意義や役割を理解しようとしている。	授業観察 ノートやプリントの記述 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。